

地域の文学再発見



第1回

6/24

(土)

13:30~15:00

吉田常夏と雑誌『燭台』

吉田常夏は山口市出身の詩人・編集者です。常夏は、下関市で詩歌を中心とした文芸雑誌『燭台』を発行しています。雑誌『燭台』は、詩歌優位という山口県の文学の基底を形作った地方文芸誌で、昭和初年代のやまぐちの文学を知るには適切な雑誌です。今回は、この雑誌『燭台』を創刊した吉田常夏と誌面をご紹介します。

講師：山口県立大学
郷土文学資料センター長 加藤 禎行

第2回

7/1

(土)

13:30~15:00

江戸時代最大の紀行文作家 小津久足の紀行文

「東京物語」で知られる映画監督小津安二郎。その大叔父にあたるのが小津久足です。小津久足は大変な蔵書家としても知られていますが、実は46作の紀行文を残した江戸時代最大の紀行文作家です。1月に出版した『大才子 小津久足』（中公選書）の内容を踏まえ、最新の江戸研究の成果と共に紀行文を紹介します。

講師：山口県立大学
郷土文学資料センター 研究員 菱岡 憲司

会場：宇部市立図書館 定員：30名（先着順） 受講料：無料

- 【申込方法】 電話、FAXまたはメールで住所・氏名・電話番号・希望講座をお知らせください。もしくは、下記受講申込書を直接図書館カウンターまでご持参ください。*1回のみ受講も可能です。
- 【申込締切】 令和5年6月9日（金）
- 【申込先】 宇部市立図書館 〒755-0033 宇部市琴芝町1丁目1番33号
TEL: 0836-21-1966 FAX: 0836-21-3801 E-mail: library@city.ube.yamaguchi.jp
- 【受講通知】 講座開始までに山口県立大学から各自へ受講票を郵送します。
- 【問い合わせ先】 宇部市立図書館 TEL:0836-21-1966
山口県立大学地域共生センター TEL:083-928-5622

※切り取り線

受講申込書

ふりがな 氏名		住所	
電話番号 (日中連絡が とれる番号)		受講予定の番号 に○をつけてく ださい。	1. 吉田常夏と雑誌『燭台』 2. 江戸時代最大の紀行文作家 小津久足の紀行文